

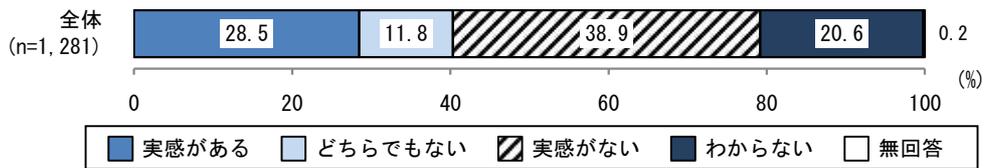
V 調査結果の分析

V 調査結果の分析

1. 本市の観光まちづくりの取組について

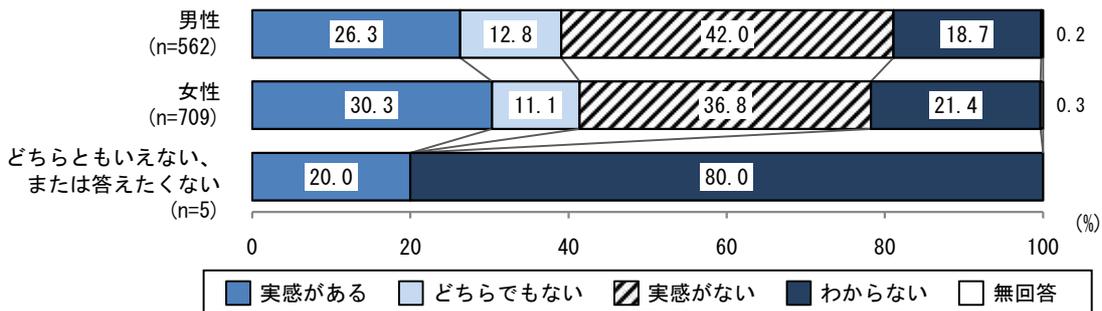
問7 最近、市内において国内外からの観光客や宿泊客が増えたという実感はありますか。(○は1つ)

図 1-1 市内において国内外からの観光客や宿泊客が増えた実感はあるか



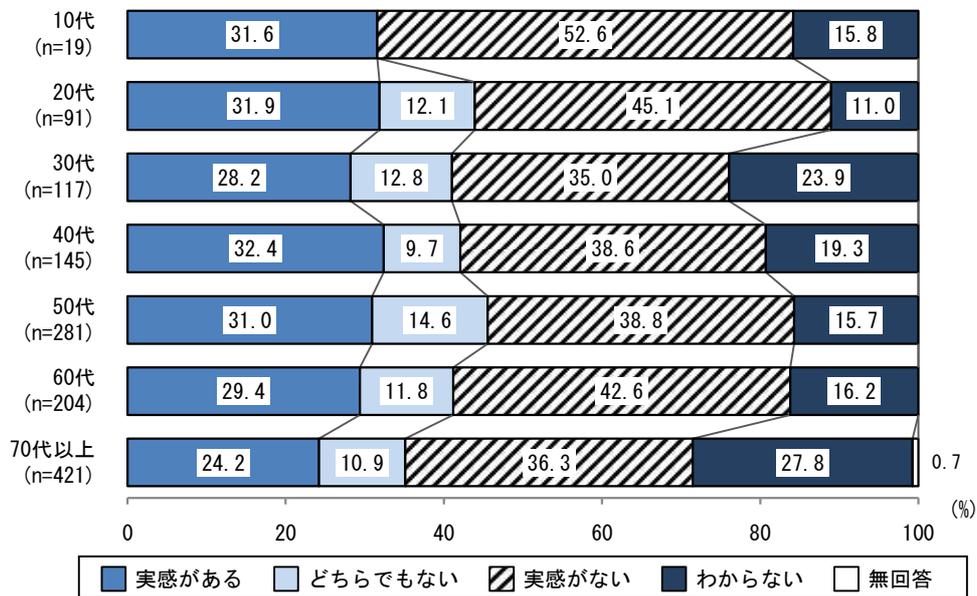
市内において国内外からの観光客や宿泊客が増えた実感はあるかをたずねた。「実感がある」が28.5%、「どちらでもない」が11.8%、「実感がない」が38.9%となっている。(図 1-1)

図 1-2 性別 市内において国内外からの観光客や宿泊客が増えた実感はあるか



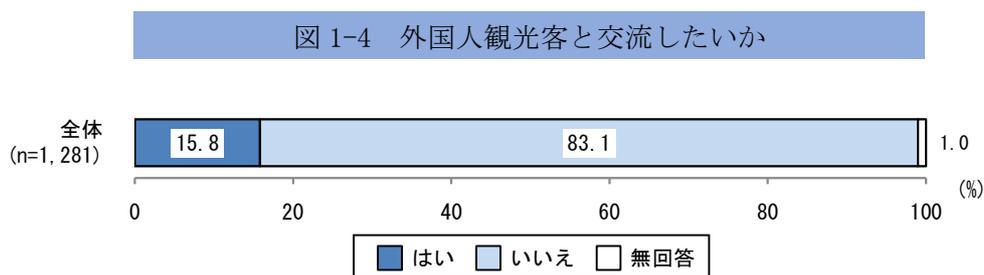
性別にみると、男女ともに「実感がない」が最も高く、男性が42.0%と、女性の36.8%を5.2ポイント上回っている。(図 1-2)

図 1-3 年代別 市内において国内外からの観光客や宿泊客が増えた実感はあるか

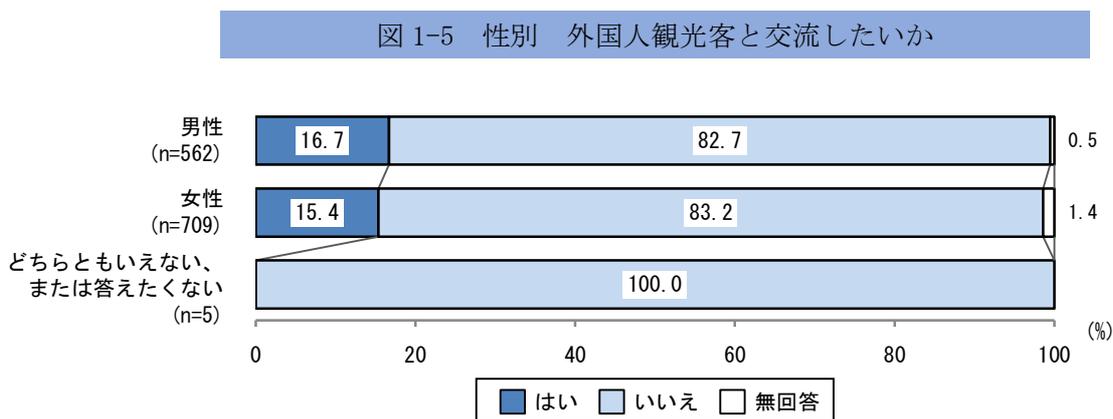


年代別にみると、すべての年代で「実感がない」が最も高く、特に10代で52.6%となっている。(図 1-3)

問8 外国人観光客と交流したいですか。(○は1つ)

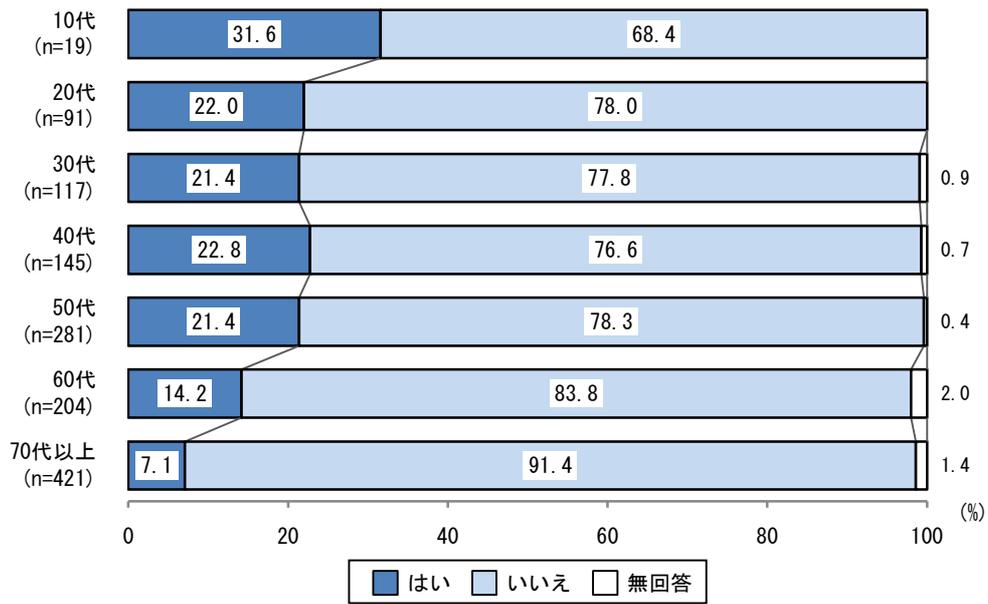


外国人観光客と交流したいかをたずねた。「はい」が15.8%、「いいえ」が83.1%となっている。(図1-4)



性別にみると、男女ともに「いいえ」が8割強と高くなっている。(図1-5)

図 1-6 年代別 外国人観光客と交流したいか

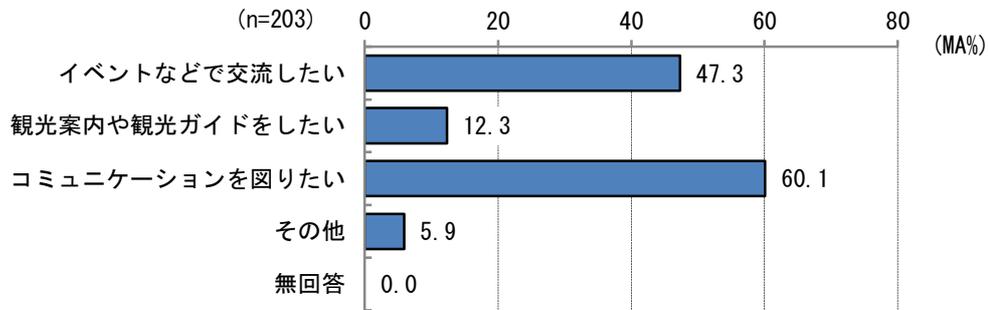


年代別にみると、「はい」が10代で31.6%と最も高く、次いで、40代で22.8%、20代で22.0%となっている。(図 1-6)

※問8で「1. はい」と回答された方におたずねします。

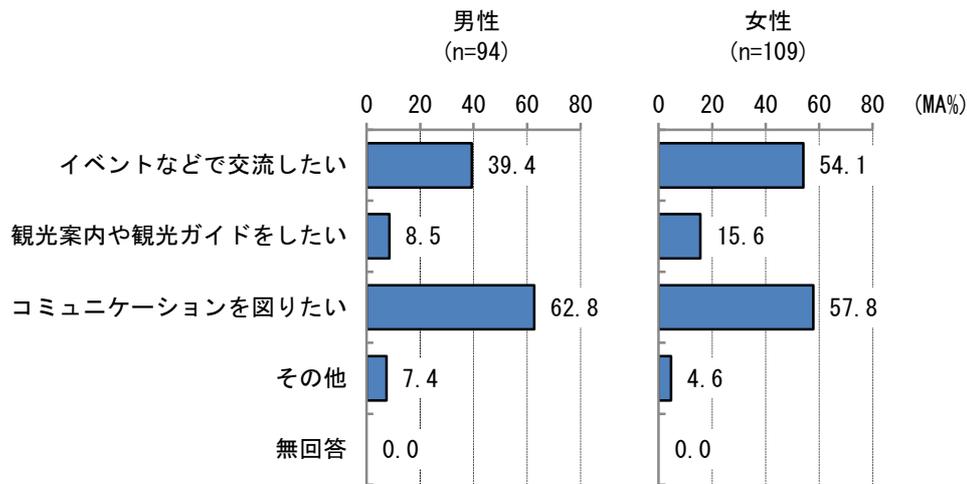
問9 外国人観光客とどのような交流をしたいと思いますか。(〇はいくつでも)

図 1-7 外国人観光客とどのような交流をしたいと思いますか



問8で「はい」と回答した方を対象に、外国人観光客とどのような交流をしたいと思いますかをたずねた。「コミュニケーションを図りたい」が60.1%と最も高く、次いで、「イベントなどで交流したい」が47.3%、「観光案内や観光ガイドをしたい」が12.3%となっている。(図 1-7)

図 1-8 性別 外国人観光客とどのような交流をしたいか

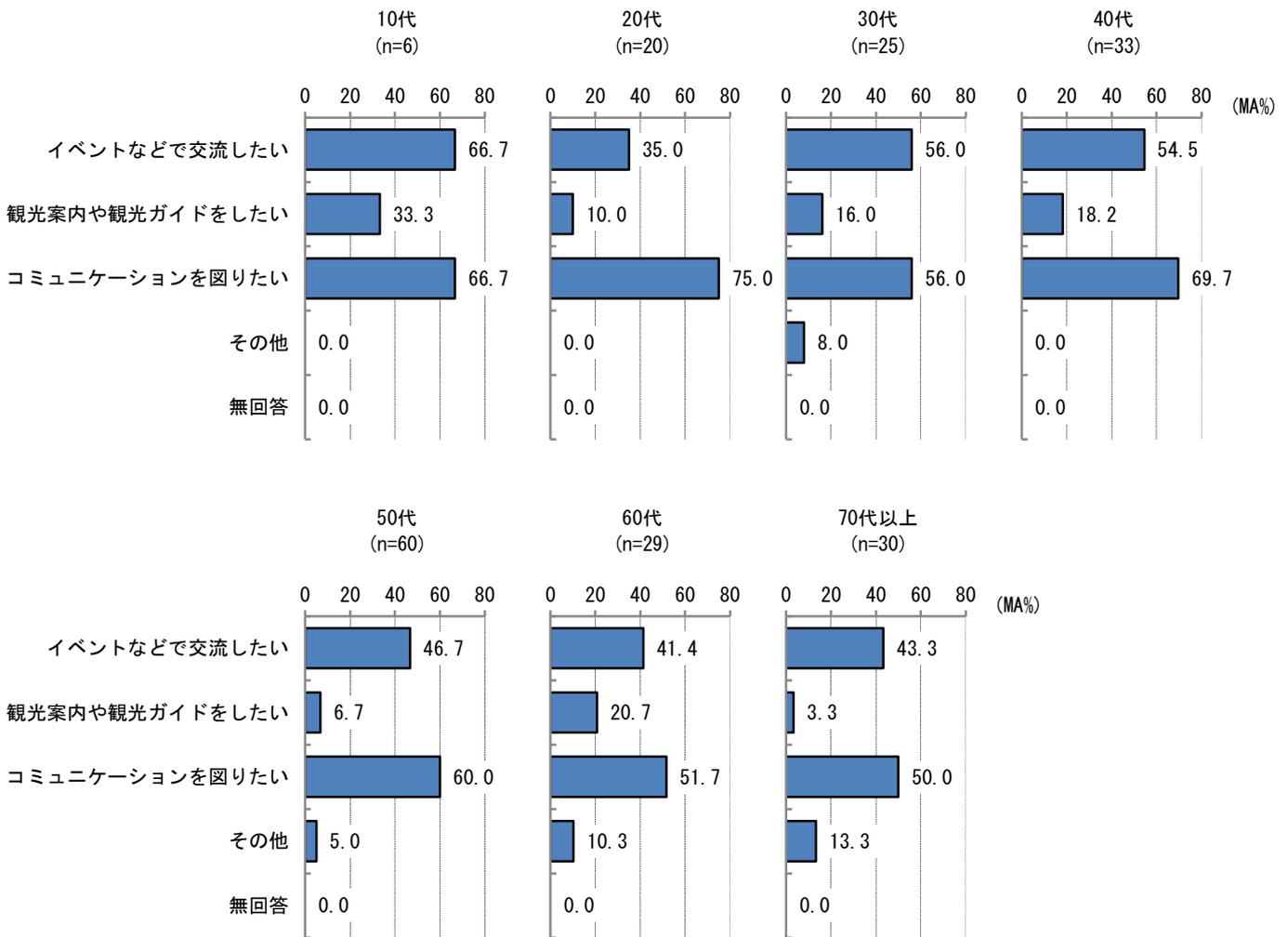


※性別が「どちらともいえない、または答えたくない」は回答なし（0.0%）のため省略

性別にみると、男女ともに「コミュニケーションを図りたい」が最も高く、男性が62.8%と、女性の57.8%を5.0ポイント上回っている。

一方、「イベントなどで交流したい」が女性で54.1%と、男性の39.4%を14.7ポイント、「観光案内や観光ガイドをしたい」が女性で15.6%と、男性の8.5%を7.1ポイント上回っている。（図 1-8）

図 1-9 年代別 外国人観光客とどのような交流をしたいか



年代別にみると、すべての年代で「コミュニケーションを図りたい」が高く、特に20代で75.0%となっている。(図 1-9)

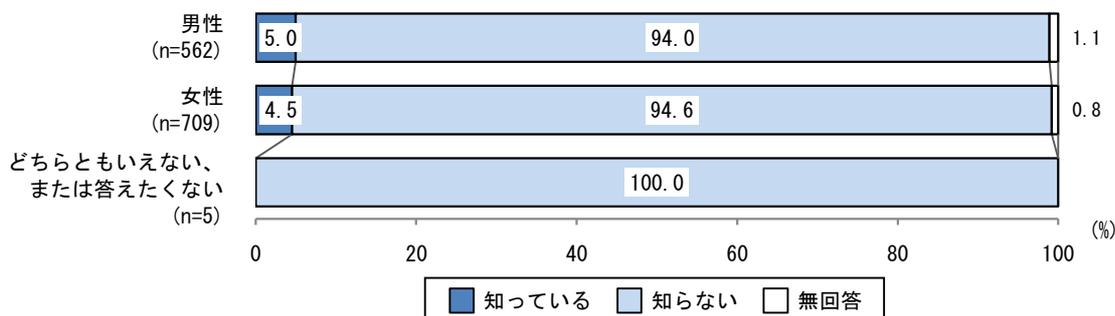
問 10 市内の新たな観光地域づくりを推進している、一般社団法人東大阪ツーリズム振興機構を知っていますか。(○は1つ)

図 1-10 一般社団法人東大阪ツーリズム振興機構の認知度



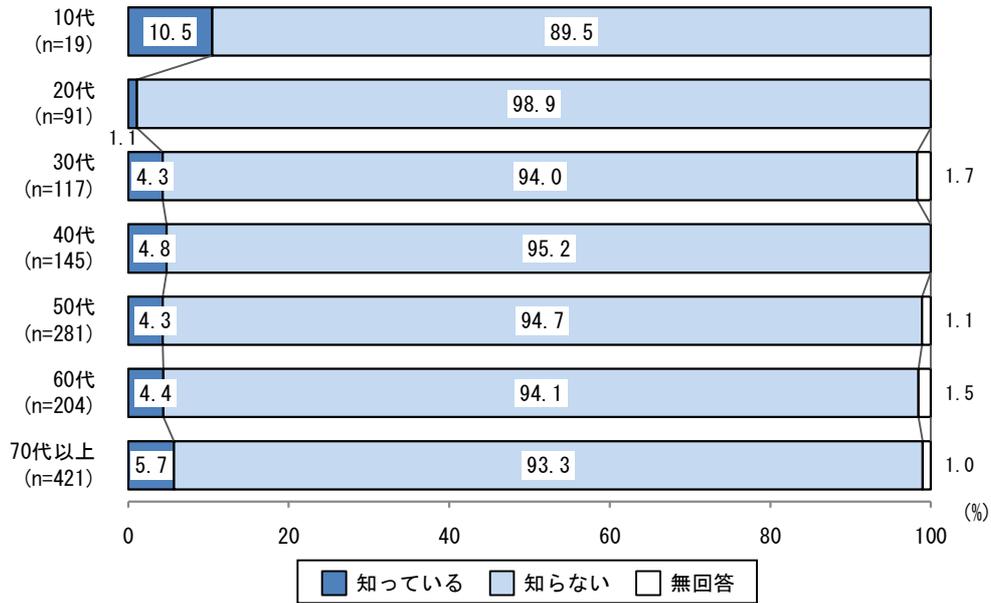
一般社団法人東大阪ツーリズム振興機構の認知度をたずねた。「知っている」が4.7%、「知らない」が94.3%となっている。(図 1-10)

図 1-11 性別 一般社団法人東大阪ツーリズム振興機構の認知度



性別にみると、男女ともに「知らない」が高く、女性で94.6%となっている。(図 1-11)

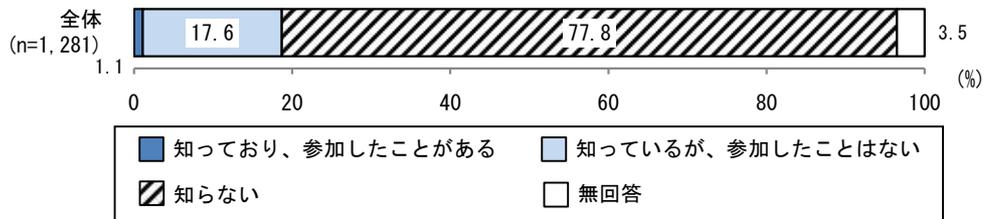
図 1-12 年代別 一般社団法人東大阪ツーリズム振興機構の認知度



年代別にみると、すべての年代で「知らない」が高く、特に20代で98.9%となっている。(図 1-12)

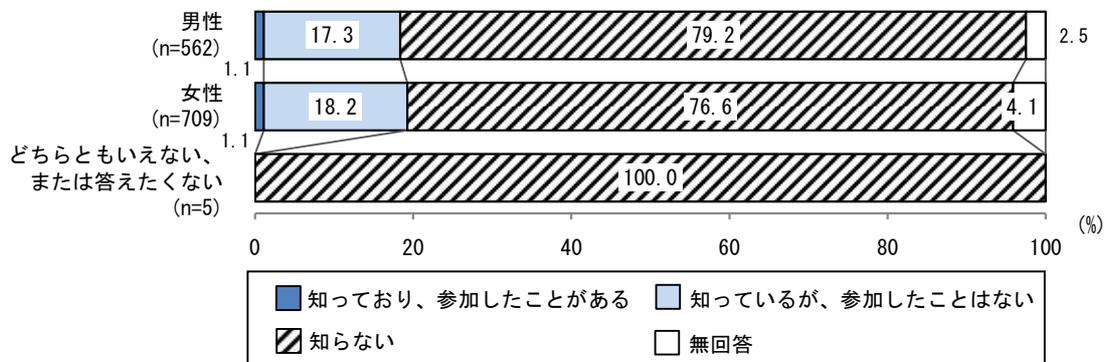
問 11 2018 年から実施している「ひがしおおさか体感まち博」を知っていますか。また、参加したことはありますか。(〇は1つ)

図 1-13 「ひがしおおさか体感まち博」の認知度と参加経験



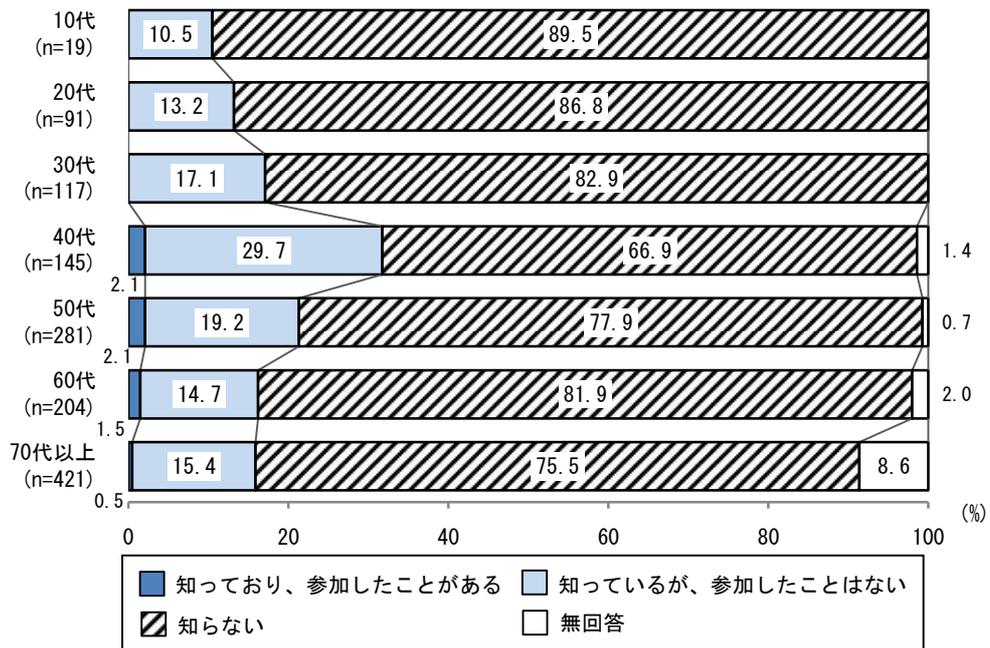
「ひがしおおさか体感まち博」の認知度と参加経験をたずねた。「知っており、参加したことがある」が1.1%、「知っているが、参加したことはない」が17.6%、「知らない」が77.8%となっている。(図 1-13)

図 1-14 性別 「ひがしおおさか体感まち博」の認知度と参加経験



性別にみると、男女ともに「知らない」が8割弱と最も高くなっている。(図 1-14)

図 1-15 年代別 「ひがしおおさか体感まち博」の認知度と参加経験



年代別にみると、「知らない」が10代で89.5%と最も高く、次いで、20代で86.8%、30代で82.9%と年代が下がるにつれ、認知していない割合が多くなっている。(図 1-15)